

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 14号

2012/9/3 発行

株式会社 立花商店

生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本程度ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

1、相場最新情報：ニューヨーク、続伸＝ロンドン反落〔LDN・NYココア〕(8/31)

ニューヨーク市場は、主要産地であるコートジボワールでの生産が縮小するとの懸念から投機筋の買いが継続し続伸、12月きりは一時2647ドルと9カ月ぶりの高値まで上伸した。終値は9ドル(0.35%)高の2610ドル。

米連邦準備制度理事会(FRB)のバーナンキ議長の講演が追加金融緩和期待を強める形となり、ドルが下落したことも、ココア相場の下支えとなった。

マッコーリー銀行のアナリスト、コナ・ハク氏は、「西アフリカのメーンクロップの生育状況をめぐる不透明感に支えられ、短期的には上昇の勢いが強い」と指摘した。一方、ロンドン市場は反落。12月きりは8ポンド(0.5%)安の1697ポンド(≒2,689米ドル)で終了した。

2、11~12年度の世界ココア供給不足予想、1万9000トンに下方修正＝ICCO(8/28)

国際ココア機関(ICCO)は28日、2011~12年度の世界のココア供給不足量の見通しを1万9000トンとし、従来予想の4万3000トンから下方修正した。

11~12年度の圧砕高見通しを従来予想から5万2000トン下方修正し、394万トンとしたことが要因。また、世界のカカオ豆生産量については2万8000トン下方修正し、396万トンとした。

3、5月1日～8月26日のブラジルのカカオ豆着荷量、31%増＝バイア商業協会(8/30)

ブラジル・バイア州のバイア商業協会が29日までに発表した統計によると、5月1日～8月26日の同国カカオ豆着荷量(輸入含む)は196万4350袋(1袋=60キロ)で、前年同期(149万5989袋)比31%増加した。同州のアナリスト、トーマス・ハートマン氏は、地元加工業者の倉庫に空きがなく、引き渡し滞っていると指摘。「完全に満杯状態」とし、引き渡しが可能になるのは9月後半か10月になるとの見方を示した。

4、アジア市場：ココアバター、欧州を追い展開で 1.30 レシオに急上昇(8/30)

- ・アジア市場でのココアバターのレシオがロンドン先物市場価格に対して 1.30 まで上昇。チョコレート会社は購入している。
- ・ココアパウダーの価格は安定維持。\$3700/MT～\$3900/MT のレンジ。

アジア産のココアバターの価格は、欧州のココアバター供給量が少ないことを不安視し欧州の価格に引きずられる展開で 2011 年 5 月依頼の高値水準である 1.30 レシオまで上昇した。

欧州市場では、ココアバターの価格は 7 月上旬と比較し、約 20%の上昇となる 1.50 レシオまで上昇。これがアジア産のバターも 2 週間前の 1.25 レシオから現在 1.30 レシオまで価格を上昇させている。ココアバターの価格は、ロンドンの先物市場で取引されているカカオ豆の価格に対する指数で決定され取引されている。

シンガポールのトレーダーは『今週ロンドンカカオ豆市場価格に対して、1.30 でココアバターを販売した。チョコレートメーカーからも商社筋からも引き合いが多くなってきている』と話している。

『第 3 四半期はココアバターの在庫が減少すると同時に、カカオの磨砕数量も下落すると予測され、多くの業界関係者がココアバターは以前の余剰状態から不足へ変わると信じている』

5.、コートジボアールのカカオ豆輸出(10-7 月)、前年対比で僅かに減少(8/31)

2011 年 10 月から 2012 年 7 月までコートジボアールから輸出されたカカオ豆の合計は 941,439 トンとなり、前年同期間と比較し 3%強下回る結果となっていることが、各港の統計資料から判明した。

2011/2012 シーズンの収穫数量は、天候不順の影響で、過去最高であった前年の 1 5 0 万トンを超える収穫数量と比較すると減少する予測である。

7 月の輸出数量に関しては、昨年は大統領選挙後の内戦時期にカカオ豆輸出禁止措置が取られており、その後解除された時期と重なり 1 0 万トンもの輸出があった為、今年は昨年対比では 1/4 程度の数量となった。下記は主要な 2 つの輸出港であるアビジャンとサンペドロ港からの詳細の輸出数量。

港 名	<u>July 2012</u>	<u>June 2012</u>	<u>July 2011</u>	*単位：トン
Abidjan	11,305	22,842	49,079	
San Pedro	12,415	42,939	54,928	
月間合計	23,720	65,781	104,007	
年間合計 (10 月～)	941,439	917,719	973,680	

6、コートジボアールからのカカオ加工原料の輸出は前年対比 24%増加(8/31)

2011 年 10 月から 2012 年 7 月までのコートジボアールからのカカオ加工原料の輸出数量は 274,859 トンとなり、前年の同時期と比較して 2 4 %増加したことが各港の統計より判明した。この大きな上昇の理由は、昨年の 3 月～5 月まで内戦状態によりカカオ加工原料も輸出することが出来なかった為の影響が

大きいと分析されており、今後もこの増加傾向が続くわけではなさそうと予測されている。
コートジボアールでは 2008 年にカカオ磨砕工場設備への投資が一気に増加し、その結果 2010 年には 532,000 トンまでキャパシティが拡張し、国別でもオランダを抜いて世界で最も大きなカカオ豆の磨砕可能能力を有するようになった。コートジでは主にカカオ豆からココアバターとココアパウダーを製造しているケースが多い。

下記はカカオ加工原料の輸出統計

港名	<u>July 2012</u>	<u>June 2012</u>	<u>July 2011</u>	単位：トン
Abidjan	17,083	18,776	19,521	
San Pedro	6,916	7,915	11,016	
月間合計	23,999	26,691	30,537	
年間合計(10月～)	274,859	250,860	222,205	

7、チョコ好きの男性は、脳卒中などの発症リスクが低い!?、スウェーデンの学術調査(8/30)

スウェーデンの学術調査によると、日常的にチョコレートを食べている男性は脳卒中などの心循環器系の卒中リスクが減少されるかもしれないと発表した。

研究者によって journal Neurology に投稿された調査によると、10 年間 37,000 人以上の男性を対象に行った調査で、チョコレートを最もよく食べる集団－典型的には 1 日にコップに 1/3 程度のチョコを食べる男性はチョコレートを食べない集団と比べて 17%の脳卒中などのリスクが少なかった。

これでもまでもチョコレートの健康効果に対する調査でも心臓病や心臓発作、高血圧のようなものに対してのリスクが低いと報告されており、今回の調査はチョコレートの心循環器系への効果を発表した初めてのケースではない。

今回の調査を行った、Susanna Larsson さんによると、良い効果をもたらしているチョコレートの成分は、フラボノイドであろうとしている。

また彼女が昨年行った他の調査では女性でも類似の調査結果が得られた。

フラボノイドは、抗酸化作用があり、血圧、コレステロール、血管機能に対して良い効果が期待できるかもしれないと調査は述べている。

調査では、49 歳から 75 歳のスウェーデン人男性に通常のチョコレートの消費量と、食事の内容を報告してもらい、10 年後の時点で 1995 人が何らかの心臓発作や脳卒中などの発作を 1 回は発症した。

男性の中でチョコレートをよく食べる上位 25%の発症率は年間 73 人/100,000 人であったが、チョコレートを食べない層は 85 人/100,000 人であった。

Larsson さんのチームはまた、調査対象者の体重や、ダイエットの習慣、喫煙の有無、高血圧の有無など病気の発症に関連する他の情報も集めていたが、それを考慮してもチョコレート好きの層は 17%発症リスクが少なかったと報告した。

但し、一方で他の研究者たちは、今日までチョコレートが心臓発作や脳卒中の発症リスクを減らすものであるということを証明できた調査は存在しないとしている。

*ニュースソースは特記がない場合以外は、ロイター通信社の情報を加工し提供しています。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田 TEL03-5783-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp